

2021年8月10日

研究に関する情報公開文書

京都リハビリテーション病院 研究倫理審査委員会受付番号：HM21-178

研究課題：回復期リハビリテーション病棟入院患者における

身体機能、動作能力、リスク、リハビリ効果の分析

研究責任者：櫻井宏明（藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 教授）

1. 研究の対象

2016年4月1日～2026年6月1日に当院に入院された患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

<概要>

回復期リハビリテーション病棟に入院する患者さんは、診療効果を最大にするため、様々な評価や検査を受けて頂きます。例えば、筋力、関節可動域、日常生活動作能力などが上げられます。各種評価結果より、問題点の把握、帰結の予測、治療内容の選定、治療の効果判定などを行います。これらは、リハビリテーション効果を最大にするために必須となるものです。これら評価で得られた結果を、後方視的に分析することで、帰結予測の精度を高めること、有効なりハビリテーションを検討すること、評価結果同士の関係性を明らかにする事を目的としています。

また、当院ではリハビリテーション効果を高める様々な取り組みを行っております。そのような取り組みの効果判定について明らかにすることも目的としています。

一方、リスクの分析では、事例を後方視的に分析します。入院中の転倒や急変などの事例やヒヤリとした体験はレポートにまとめて報告し、院内にて医療安全について議論されます。このレポートを後方視的に分析することで、生じやすい事例や特徴を把握して、医療事故の発生を未然に防ぐ事を目的としています。

<評価の方法>

日常生活動作能力は、入院から2週間隔で評価します。また、その他の評価項目については、必要に応じて評価を行います。これらはいずれも通常診療に必要な評価となります。

<安全面と倫理的配慮>

今回の臨床評価は通常診療で必要となる評価を実施し、それを後方視的に分析するため、患者さんが不利益を被る危険性は極めて少ないと考えています。

<研究期間>

倫理委員会承認日（2021年8月10日）～2026年6月1日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

a. 基本情報

年齢、原疾患、既往歴、発症日、入退院日、練習時間数、脳画像情報、レントゲン画像情報、意識状態、栄養状態、社会資源情報、使用装具や補助具等

b. 評価に基づく情報

日常生活動作能力、認知機能、歩行能力、嚥下機能・能力、発声機能、運動麻痺に関する評価、筋力、関節可動域等

c. インシデント・アクシデント，ヒヤリハットレポートに基づく情報

当該職種、経験年数、所属、事故レベル、発生日、転倒リスク評価、認知症自立度、事故種類、発生原因、事故の状況等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 本研究実施に係る利益相反

なし

6. 研究組織

本研究の責任者：藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科 教授 櫻井宏明

研究機関の名称：藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科

研究機関の長：藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科 教授 櫻井宏明

研究責任者：藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科 教授 櫻井宏明

研究機関の名称：京都リハビリテーション病院

研究機関の長：京都リハビリテーション病院 病院長 平田剛秀

研究責任者：京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長 富田 憲

7. 問い合わせ先

富田 憲（京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

TEL:075-646-5400: FAX: 075-646-5401